

第8章 文化財保護

第1節 文化財の指定と調査・保護

第2節 東北歴史博物館

第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

第1節 文化財の指定と調査・保護

1 指定文化財

県内の国及び県指定の文化財は、次のとおりである。

第8-1表 平成21年度末文化財指定等件数

区分	種別	国指定			県指定	計	
		国宝・特別	重要文化財	計			
有形文化財	建造物	3	16	19	37	56	
	美術	絵画		2	2	14	16
		彫刻		8	8	26	34
	工芸品	工芸品		11	11	22	33
		書跡・典籍	2	3	5	20	25
		古文書・古碑		1	1		1
		考古資料		8	8	6	14
歴史資料	1	1	2	12	14		
無形文化財	工芸技術		1	1	1	2	
	その他				1	1	
民俗文化財	有形民俗文化財				4	4	
	無形民俗文化財	風俗慣習	4	4	9	13	
		民俗芸能	3	3	33	36	
		風俗慣習・民俗芸能			2	2	
記念物	史跡	1	33	34	15	49	
	史跡・名勝		1	1		1	
	名勝	1	3	4	2	6	
	天然記念物	1	26	27	29	56	
合計		9	121	130	233	363	
・選定文化財 (国選定) (県選定)							
保存技術	選定保存技術	1				1	
・記録作成等の措置を講ずべき文化財 (国選択) (県選択)							
無形民俗文化財	風俗慣習	4				4	
	民俗芸能	4				4	
・登録文化財 (国登録)							
有形文化財	建造物	72					
	美術工芸品	1					

2 文化財の調査・保護

(1) 埋蔵文化財の保護及び発掘調査等

ア 保護体制の整備

文化財保護体制の基礎は市町村にあるとの認識のもとに、市町村の体制の充実を図るため、次のような事業を実施した。

市町村文化財担当者会議・研修会

平成21年5月21日

場所 東北歴史博物館

参加者 35市町村文化財担当者

イ 文化財保護管理指導事業

文化財保護地区指導員を県下市町村に各1人（仙台市：4人、大崎市：7人、加美町：3人、栗原市：10人、登米市：9人、気仙沼市2人、石巻市7人、南三陸町2人）委嘱し、国指定の重要文化財（建造物）、史跡、名勝、天然記念物及び主たる埋蔵文化財包蔵地についてパトロールを実施し、関連して以下の研修会を開催した。この事業は昭和49年度から国庫補助事業として実施しているものである。

（ア）文化財保護地区指導員及び市町村文化財担当者会議

平成21年5月21日

場所 東北歴史博物館

参加者 市町村担当者53名・保護地区指導員54名

（イ）市町村文化財担当者・文化財保護地区指導員研修講座

月 日 平成21年10月21日

会場 東北歴史博物館

研修内容 特別展「東北の群像」の見どころと展示解説

講師 東北歴史博物館学芸員 塩田達也

参加者 市町村担当者72名・保護地区指導員・文化財保護委員45名

ウ 基礎資料の整備

埋蔵文化財関係の基礎資料を整備し、その活用を図るため、遺跡台帳の整備充実に努めた。

エ 発掘調査

（ア）平成21年度：埋蔵文化財発掘届等の件数

（第8-2表参照）

調査のための発掘届（法92条第1項） 4件

土木工事に伴う届（法93条第1項） 411件

土木工事に伴う通知（法94条第1項） 275件

遺跡発見の届（法96条第1項） 0件

遺跡発見の通知（法97条第1項） 63件

教育委員会の発掘調査（法99条第1項） 277件

合計 1,030件

（イ）国庫補助事業による詳細分布調査（県教委が主体もしくはは担当した調査）（第8-3表参照）

（ウ）受託事業による調査（第8-3表参照）

（エ）執行委任事業による調査（第8-3表参照）

（オ）その他の調査（第8-3表参照）

第8-2表 埋蔵文化財発掘届等件数

No.	市町村名	92	93	94	96	97	99	計
1	仙台市	2	3	63		7	55	130
2	白石市		16	3		2	8	29
3	角田市		1	6			4	11
4	七ヶ宿町							0
5	蔵王町		10	1			11	22
6	大河原町		2					2
7	村田町			2				2
8	柴田町		4	1			1	6
9	川崎町							0
10	丸森町		5	2				7
11	塩竈市							0
12	名取市		40	9			26	75
13	亘理町		4	2			5	11
14	山元町		6			36		42
15	岩沼市	1	6	3			3	13
16	松島町		12	7			3	22
17	多賀城市		115	37			57	209
18	七ヶ浜町		4					4
19	利府町		9	6			10	25
20	大和町		13	5			7	25
21	大郷町			1				1
22	富谷町		3					3
23	大衡村		5	2			3	10
24	大崎市		35	14		1	26	76
25	加美町		11	16			16	43
26	色麻町		1				1	2
27	涌谷町		1				2	3
28	美里町		10	14				24
29	栗原市	1	64	48		5	31	149
30	登米市		7	12			2	21
31	石巻市		10	10		2		22
32	東松島市		8	4			5	17
33	女川町		1					1
34	気仙沼市		5	6		10	1	22
35	南三陸町			1				1
	合計	4	411	275	0	63	277	1030

第8-3表

発掘調査遺跡一覧

受託契約による調査

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 ㎡	調査期間	主な発見遺構など	
1	国道4号 バイパス建設	国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道 事業所	大天馬遺跡 御駒堂遺跡	栗原市	発掘調査	1,400	5月25日～6月3日	調査担当	奈良時代の竪穴住居跡1, 井戸跡1, 土杭11, 溝跡7。土師器, 鉄製品。

執行委任による調査

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 ㎡	調査期間	主な発見遺構など	
1	県営ほ場 整備事業 田尻西部地区	宮城県 北部地方 振興事務所	北小松遺跡ほか	大崎市	発掘調査 確認調査	2,075	5月11日～12月11日	調査担当	縄文時代晩期の竪穴住居跡1, 土杭10, 人の墓29, 犬の墓3, 埋設土器, 集石遺構。縄文土器, 石器, 石製品, 土製品, 骨角器, 木製品, 動植物遺存体など。
2	黒川高校 実習棟建設	宮城県 教育庁 施設整備課	一里塚遺跡	大和町	発掘調査	968	10月19日～12月4日	調査担当	古代の土杭8, 溝跡2。時期不明(近世?)掘立建物跡8, 住列跡2, 土杭1, 溝跡1

国庫補助による調査

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 ㎡	調査期間	主な発見遺構など	
1	重要遺跡 確認調査	宮城県 教育委員会	壇の越遺跡 早風遺跡	加美町	確認調査	245	11月2日～11月9日	調査担当	東山官衛遺跡南北大路西側溝。土師器, 須恵器。

その他の調査(市町村協力及び調査担当)

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 ㎡	調査期間	主な発見遺構など	
1	農業用ハウス 建設	株式会社 ベジドリーム	北基六原遺跡	栗原市	発掘調査	15,000	4月8日～6月5日	調査協力	古代の竪穴住居, 土杭。中近世の掘立建物跡, 井戸跡, 溝跡, 道路跡, 土壌。土師器, 須恵器, 中世陶器など。
2	市道改良	登米市	滝塚	登米市	発掘調査	1,500	5月18日～7月30日	調査担当	古代の竪穴住居跡3, 溝跡2, 近世の塚1, 墓3
3	溜池造成	宮城県 王城寺原補償 工事事務所	日の出山窯跡群	色麻町 大衡村	発掘調査	1,550	6月1日～6月12日	調査協力	現代の炭窯
4	法面保護工事	宮城県 仙台土木事務所	栗駒小学校裏の 横穴	栗原市	確認調査	10	6月2日	調査協力	時期不明の横穴
5	町道改良工事	丸森町	和田遺跡	丸森町	発掘調査	500	6月10日～8月4日	調査協力	縄文時代の土杭, 古代の竪穴住居。縄文土器, 土師器など
6	都市計画 道路建設	宮城県 仙台土木事務所	桜小路横穴墓 桜小路遺跡	亘理町	確認調査	1,730	6月29日～7月30日	調査協力	弥生時代の竪穴状遺構1, 古代の横穴墓21。鉄刀, 土師器, 須恵器, 弥生土器, 近世陶器など
7	県道改良工事	宮城県 東部土木事務所	石森館跡	登米市	発掘調査	108	7月2日, 8日	調査担当	掘跡1, 近世陶器
8	個人宅の 法面工事	個人	中原西遺跡	亘理町	確認調査	10	7月22日・28日	調査協力	古代の窯跡1
9	個人住宅新築	個人	大天馬遺跡	栗原市	確認調査	1,200	7月23日～8月27日	調査協力	奈良時代の竪穴住居跡3, 溝跡4など。縄文土器, 土師器, 須恵器, 近世陶器。
10	店舗建設	有限会社 トップバリュー	北経塚遺跡	山元町	確認調査	500	7月27日～7月30日	調査協力	縄文時代前期の遺物包含層, 土杭, 溝跡。縄文土器, 石器, 土師器
11	市道改良	登米市	八ツ森新城	登米市	確認調査	410	7月27日～8月3日	調査協力	溝跡, 土杭
12	市道改良	登米市	八ツ森新城	登米市	発掘調査	400	8月5日～8月19日	調査協力	溝跡, 土杭。土師器
13	個人住宅新築	個人	本屋敷B遺跡	大河原町	確認調査	100	8月3日	調査協力	遺構・遺物なし。
14	個人住宅新築	個人	新畑中遺跡	柴田町	確認調査	20	8月20日	調査協力	遺構・遺物なし。
15	下水道工事	登米市	青島貝塚	登米市	発掘調査	37	8月26日～10月16日	調査協力	縄文時代中期の遺物包含層・貝層, 土杭, 墓。縄文土器, 石器, 石製品, 人骨

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 m	調査期間	主な発見遺構など	
16	重要遺跡範囲 確認調査	亘理町	三十三間堂 官衙遺跡	亘理町	確認調査	1,000	9月7日～10月30日	調査協力	溝跡（区画跡）
17	店舗建設	有限会社 トップバリュー	北経塚遺跡	山元町	発掘調査	3,100	9月14日～12月8日	調査協力	縄文時代前期の遺物包含層，土杭，溝跡。縄文土器， 石器，土師器
18	個人住宅新築 （2軒）	個人	新畑中遺跡	柴田町	確認調査	40	10月1日	調査協力	遺構・遺物なし
19	個人住宅新築 （擁壁）	個人	本屋敷B遺跡	大河原町	確認調査	100	10月5日	調査協力	遺構・遺物なし
20	電力鉄塔建替 （2箇所）	東北電力	萱刈場窯跡 彦右工門橋窯跡	大衡村	確認調査	60	10月20日	調査協力	遺構・遺物なし
21	松島第一 小学校体育館 建設	松島町	道珍浜貝塚	松島町	確認調査	70	11月6日・11日	調査協力	縄文時代後期竪穴住居跡。縄文土器
22	携帯電話 基地局建設	au	松原霊園前遺跡	大衡村	確認調査	100	11月29日	調査協力	遺構・遺物なし
23	市道改良	登米市	吉田遺跡	登米市	確認調査	201	1月12日・13日	調査協力	遺構・遺物なし
24	下水道工事	松島町	西の浜貝塚	松島町	確認調査	10	1月12日	調査協力	遺構なし。縄文土器。
25	トイレ撤去	柴田町	船岡館跡	柴田町	確認調査	20	1月13日	調査協力	遺構・遺物なし
26	県 ほ場整備事業 田尻西部地区 （追加分）	宮城県 北部地方 振興事務所	北小松遺跡	大崎市	確認調査	174	2月1日・2日	調査担当	遺構・遺物なし
27	店舗兼住宅 建設	松島町	瑞巖寺境内遺跡	松島町	確認調査	30	2月18日	調査協力	遺構なし。銭貨（寛永通宝）
28	県 ほ場整備事業 城下地区	宮城県 北部地方 振興事務所	城下遺跡	栗原市	確認調査	2,180	3月8日～15日	調査協力	古代の竪穴住居跡，井戸跡，溝跡など。土師器，近世 陶磁器

オ 報告書の刊行

刊行年月日	報告書名
2010 (平成22年3月)	宮城県文化財調査報告書第222集「鍛冶沢遺跡ほか」
2010 (平成22年3月)	宮城県文化財調査報告書第223集「北小松遺跡ほか」
2010 (平成22年3月)	宮城県文化財調査報告書第224集「一里塚遺跡」
2010 (平成22年3月)	宮城県文化財調査報告書第225集「壇の越遺跡・早風遺跡ほか」

(2) 文化財の保護

ア 史跡名勝天然記念物に対する現状変更件数については、
次表のとおりである。（第8 - 4表参照）

イ 銃砲刀剣類の審査と登録

登録審査会を6回開催し，美術的価値のある銃砲刀剣類
の登録を行った。（第8 - 5表参照）

ウ 第51回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

平成21年10月18日（日）に岩手県北上市を会場に開催さ
れ，本県から1団体（寺崎のはねこ踊）が出演した。

第8 - 4表

史跡・名勝等の現状変更件数

種別	名称	年度							
		15	16	17	18	19	20	21	
特別名勝	松島	131	118	88	88	139	135	198	
特別史跡	多賀城跡附寺跡	10	9	9	10	18	11	8	
その他		21	35	42	18	38	31	30	
計		162	162	139	116	195	177	236	

第8 - 5表

銃砲刀剣類の登録件数

種類	た	ち	刀	わ	き	ざ	し	短	刀	剣	や	り	な	ぎ	な	た	その他	火	な	わ	式	銃	砲	管	打	式	銃	砲	ピ	ン	打	式	銃	砲	計
件数	5		42	76				42		0		10			1		0		7			2				0							185		

3 文化財保護事業に対する助成等

(1) 国庫補助事業

本年度国庫補助事業として実施したものは次のとおりである。

第8 - 6表

平成21年度国庫補助事業

(単位：千円)

事業名	事業者	総事業費	内 訳			
			国庫補助金	県補助金	市町村費	所有者負担金等
多賀城跡附寺跡買上げ(直接買上げ)	多賀城市	350,000	280,000	8,000	62,000	-
市内遺跡発掘調査等	仙台市	38,058	18,847	-	19,211	-
市内遺跡発掘調査等	大崎市	7,001	3,500	-	3,501	-
市内遺跡発掘調査等	東松島市	6,000	3,000	-	3,000	-
市内遺跡発掘調査等	多賀城市	18,002	9,000	-	9,002	-
市内遺跡発掘調査等	角田市	2,003	1,000	-	1,003	-
町内遺跡発掘調査等	加美町	2,003	1,000	-	1,003	-
町内遺跡発掘調査等	亶理町	4,401	2,200	-	2,201	-
市内遺跡発掘調査等	栗原市	3,003	1,500	-	1,503	-
市内遺跡発掘調査等	白石市	2,003	1,000	-	1,003	-
市内遺跡埋蔵文化財保存活用整備事業	多賀城市	3,100	1,550	-	1,550	-
里浜貝塚埋蔵文化財保存活用整備	東松島市	5,000	2,500	-	2,500	-
市内遺跡埋蔵文化財保存活用整備事業	仙台市	11,092	5,394	-	5,698	-
重要文化財我妻家住宅主屋ほか4棟保存修理	我妻信雄	9,865	8,385	369	1,060	51
重要文化財洞口家住宅附門及び馬屋保存修理	洞口京一	12,031	10,226	451	1,263	91
瑞巖寺本堂等建造物保存修理	瑞巖寺	177,750	106,650	17,775	5,000	48,325
山王困遺跡史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業	栗原市	30,002	15,000	3,000	12,002	-
旧有壁宿本陣史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業	佐藤鐵太郎	20,023	14,000	1,500	1,500	3,023
仙台藩花山村寒湯番所跡史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業	栗原市	35,505	24,852	2,130	8,523	-
国有文化財多賀城跡附寺跡管理事業	多賀城市	209	166	-	43	-
特別史跡多賀城跡附寺跡史跡等保存管理計画策定事業	多賀城市	7,600	3,800	-	3,800	-
第56回日本伝統工芸展仙台展	日本伝統工芸展仙台展実行委員会	3,102	1,496	-	-	1,606
選定保存技術(石盤置)伝承	佐々木信平	1,157	1,106	-	-	51
伊治城跡買上げ(直接買上げ)	栗原市	23,520	18,800	-	4,720	-
仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査	仙台市	4,601	2,299	-	2,302	-
仙台郡山官衙遺跡群買上げ(先行取得償還)	仙台市	3,308	2,646	-	662	-
陸奥国分寺跡買上げ(先行取得償還)	仙台市	795,564	636,446	-	159,118	-
多賀城跡附寺跡保存修理	宮城県	8,501	4,250	4,251	-	-
特別天然記念物カモシカ食害対策	宮城県	1,800	1,200	600	-	-
県内遺跡発掘調査等	宮城県	19,064	9,529	9,535	-	-
指定文化財管理	宮城県	4,608	2,304	2,304	-	-
特別名勝松島史跡等保存管理計画策定事業	宮城県	2,550	1,275	1,275	-	-
合計		1,612,426	1,194,921	51,190	313,168	53,147

(2) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業

南奥羽山系カモシカ保護地域におけるカモシカの生息動向・生息環境・食害発生状況などのカモシカ保護対策に関する調査を実施した。

(3) 県費補助事業

本年度県費補助事業として実施したものは、次のとおりである。

第8 - 7表

平成21年度県費補助事業

(単位：千円)

補助事業名	補助金交付先	補助金額	備 考
有形文化財保存事業補助	大崎八幡宮 他8団体(個人)	2,208	補助率 事業費の50%以内
無形文化財・無形民俗文化財等保存事業補助	無形文化財保持者及び保持団体 新田柳心館 他 1個人	280	補助率 定額(140千円)
	無形民俗文化財保存団体 湯元田植踊保存会 他47団体	1,440	補助率 定額(30千円)

第2節 東北歴史博物館

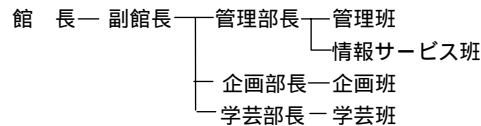
1 概要

東北歴史博物館は、宮城の地を拠点に東北全体の歴史及び文化を総合的にとらえ、その特色を世界に発信することを目的とした人文系博物館であり、誰もが気軽に学ぶことができる施設である。

企画展示、教育普及、調査研究及び歴史資料収集管理などの主要事業を積極的に行なった。

2 組織と予算

(1) 組織



(2) 予算

項目	金額(千円)
管理経費	222,030
企画展示費	24,020
教育普及費	9,918
調査研究費	1,347
資料管理費	3,753
合計	261,068

3 事業

(1) 企画展示事業

ア 常設展示

総合展示室において、約3万年前の後期旧石器時代から1965(昭和40)年頃までの東北地方全体の歴史及び文化について、庶民の視点を重視しながらそれぞれの時代を特色づけるテーマを取り上げた課題展示を行っている。重要文化財を含む実物資料約1400点の展示及び当時の様子を復元したジオラマ、イラストや地図・写真を使ったパネル、レーザーディスク等の映像装置、解説文パネルを適宜配置してわかりやすい展示を目指している。

テーマ展示室において、展示室1で「郷土玩具の世界」「カマ神」を、展示室2で「骨角器の世界」「杉山コレクション アイヌ民族資料及び刀装具」を展示した。また、展示室3では「宮城の文化 - 高僧たちの墨蹟 -」をはじめ8回の展示替えを行なった。

観覧者数：27,313人

イ 特別展示

・特別展「みやぎの昔々 - 地中からのメッセージ -」

会期：平成21年4月25日～6月7日(38日間)

関連行事：講演会「宮城の発掘この10年」

講師 東北学院大学教授 辻 秀人氏

期日 平成21年5月10日

観覧者数：4,250人

・特別展「むかしをたんけん! こどもの世界

- とつげきおもしろはくぶつかん 2009 -」

会期：平成21年6月27日～8月30日(56日間)

関連行事：歴史体験教室

観覧者数：13,699人

・特別展 開館10周年記念特別展

「東北の群像 - みちのく祈りの名宝 -」

会期：平成21年9月19日～11月1日(38日間)

関連行事：講演会「祈りの名宝にみる『みちのくの心』」

講師 盛岡大学教授・平泉文化遺産センター館長

大矢 邦宣氏

期日 平成21年10月4日

民俗芸能上演会

参加団体 多賀城太鼓保存会

期日 平成21年9月19日

雅楽と声明の調べ

参加団体 宮城野雅楽会、宮城智山青年会有志

期日 平成21年9月27日

民俗芸能交流会

参加団体 雄勝法印神楽保存会、塩竈神楽保存会、

石巻市立雄勝小学校

期日 平成21年10月25日

学芸員とともに宮城の文化遺産を学ぶプログラム

次章(2)カに後述

観覧者数：8,499人

(2) 教育普及事業

ア こども歴史館の運営

利用者数 29,226人(小・中学校・高校の利用数 延べ277校)

体験企画(解説員主催)：

「お正月遊び2010お正月遊びにトライ！」

「つくってあそぶ!!でござる」

イ 図書情報室の運営 利用者数 4,299人

ウ 今野家住宅の運営 利用者数 29,223人

エ 講座等の行事

行事名	回数	参加数(人)	備考
館長講座	15	1,570	テーマ「東北古代瓦の系譜」
博物館講座	23	1,032	古文書、史料購読、民俗芸能等
体験教室	9	618	縄文土器、勾玉等作り等
多賀城跡巡り	10	92	毎月2回(4月～10月)
民話を聞く会	6	229	多賀城、利府民話の会と共催
体験イベント	2	3,256	春と秋の年2回開催

オ 平成21年度「みやぎ文化芸術振興プラン」

(文化庁「地域文化芸術振興プラン」推進事業)事業

無形の文化財上演会

総参加者数 1,144名

民俗芸能上演会

雅楽と声明の調べ

民俗芸能交流会

開館10周年記念特別展開連行事
に前述

みやぎ民話の集い - 語り継ぐふるさとの民話 -

講演会 「いま、民話を考える」

講師 宮城民話の会顧問 民話研究者 小野和子氏

期日 平成21年1月17日

カ 学芸員とともに宮城の文化遺産を学ぶプログラム

- おらほの博物館さございんプロジェクト -

(平成21年度文化庁美術館・博物館活動基盤

整備支援事業)

期間 平成21年7月1日～平成22年2月26日

キ (財)宮城県文化財保護協会と共催

田植踊上演会

総参加者数 115名

主演 廿一田植踊保存会、湯元田植踊保存会

期日 平成22年3月7日

ク 広報と刊行物

特別展図録『東北の群像 - みちのく祈りの名宝 -』

『みやぎの文化遺産』

『東北歴史博物館 平成20年度年報』

『東北歴史博物館研究紀要11』

『催事カレンダー(4月～7月, 8月～11月, 12月～3月)』

(3) 調査研究事業

東北地方の歴史・文化に関連する考古資料・民俗資料・文書資料・美術工芸資料及び建造物資料について調査研究を行い、その成果を研究紀要・展示解説書等の刊行物を通じて公表した。

ア 考古資料の調査研究

興野コレクション縄文土器及びその他の館蔵資料の写真撮影を112件、情報システムへの登録・更新作業を199件行った。県文化財保護課より発掘調査報告書刊行済みの資料である土・石製品407箱、木製品44箱、金属製品他10箱、図面・台帳類43冊、カラー・モノクロ写真5冊、CD・DVD96枚について移管を受けて収納し、データベースに現在登録中である。

興野コレクション縄文土器及びその他の館蔵資料については、33点をホームページ上に追加公開した。

宮城県大崎平野から石巻海岸平野にかけての地域（古代の黒川以北十郡域）に、8世紀を中心に設置された城柵・郡家関連遺跡の外郭線を確認する分布調査を行った。

イ 民俗資料の調査研究

長年にわたり東北地方の民俗芸能を研究してきた千葉雄市氏の調査資料一式の整理を昨年度から継続して行い、ほぼ終了した。同氏の資料は、書籍、調査ファイル等、写真、VHSテープ、カセットテープ、レコード等約6,698点からなる。栗原市等で行われた南部神楽の大会の様子を記録したDVD131枚を整理し、寄贈を受けた。

平成18年に寄贈を受けた、三崎一夫資料（昭和30年代末から平成10年頃までの民俗調査資料）のうち、調査ノートの整理を行い、内容を精査した。

東北地方信仰伝承の調査研究として、本年度は石巻市雄勝町立浜地区での調査を実施した。

ウ 文書資料の調査研究

新規収集文書については、「巨理町森家資料」「東仙台佐藤家資料」などの整理を行い、寄贈を受けた。県図書館移管文書については、「遊郭文書」整理を行い、目録を作成した。また、「伊達家文書」のデータベース化がほぼ完了した。

館蔵資料の資料保存と公開促進の目的で、県図書館移管文書のうち、「遊郭文書」のマイクロフィルム化を行った。

地震等の災害対策としての確認調査及び防災対策の検討として宮城県沖地震等に対する文化財の震災対策に関する調査等を行った。また、宮城歴史資料保全ネットワークを通じて、所蔵者から資料の保全に関する要請のあった歴史資料の受け入れ等を行った。

エ 美術工芸資料の調査研究

館蔵の「松島図屏風」及び「松島真景図」等について、描かれている景観及び名所を中心に調査研究を行った。その成果の一部をテーマ展示において公開した。平成22年度特別展「絵画にみる江戸時代のみやぎ」においても、成果の一部を公開する予定である。東北の近代絵画に関する調査研究として宮城・東北を描いた真景図について調査研究を行った。その成果の一部をテーマ展示において公開した。

仏教文化及び美術に関する調査研究として栗原市、大崎市、岩手県平泉町、福島県会津地域、山形県置賜地域等の信仰拠点の調査を行い、データを整備した。その成果の一部を、平成21年度特別展「東北の群像」において公開した。

オ 建造物資料の調査研究

近代建築資料調査として旧くりはら田園鉄道若柳駅舎・機関車庫等の実施区調査を行い、詳細なデータを収集した。

また、村田町旧武家住宅、登米市中田町上沼八幡神社拝殿、仙台市東北大学工学部都市建築学講座標本室の模型等の調査を行った。

(4) 資料管理事業

歴史資料・文書資料・民俗資料等を収集し保存及び管理を行い、展示・閲覧・貸出・調査研究などの活用に資する。

ア 実物資料

考古・民俗・文書・美術工芸・建築・歴史の各資料分野にわたって、約7万件を超える資料を収蔵している。

資料修復として石母田家文書50点を裏打ちした。資料の館外貸出は39件977点であった。寄贈資料は、民俗芸能関係資料（書籍・写真・ビデオテープなど）6,698点、中国銭（「開元通寶」「大観通寶」）977枚、ソノシート1枚、近現代文書及び歴史資料191点などで計8,013点であった。

イ 写真資料

収蔵実物資料を撮影したものを等を中心とした写真資料についてフィルムやプリントの形態で約67,000点を収蔵している。今年度の写真資料等の貸出及び再掲載申込は、64件283点であった。

ウ 図書資料

当館が所蔵している図書資料の総数は約100,000冊で、そのうち約8,000冊を図書情報室で開架し、来館者が自由に閲覧できるようにしている。また、収蔵図書資料の目録は、当館ホームページで公開している。

エ 科学的保存処理

県内の遺跡から出土した脆弱な資料について、「埋蔵文化財出土遺物の保存処理」として国庫補助を受け、今年度は、漆器や曲げ物などの木製品129点、刀子や鉄釘などの金属製品78点などの保存処理を行った。

オ 保存環境管理・調査

資料の保存処理及び収蔵庫・展示室の保存環境に関する調査を行い、資料の保全に努めた。また、収蔵庫内の木質から発生する酸・アルカリなどの成分が資料に与える影響について継続的に調査している。このほか、歴史資料の虫やカビの被害対策として実態を調査し、個別燻蒸消毒を行った。

また、県内外の諸機関から文化財の保存環境についての問い合わせに対応した。

(参考資料) 第8 - 8表

平成21年度東北歴史博物館入館者数

月区分	開館日数	入館者数(人)
4月	26	9,939
5月	27	15,012
6月	25	19,998
7月	27	12,166
8月	26	17,471
9月	26	11,686
10月	27	25,046
11月	25	8,262
12月	24	3,549
1月	24	3,691
2月	16	2,109
3月	26	4,430
計	299	133,359

第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

多賀城跡は奈良・平安時代に陸奥国の国府が置かれ、奈良時代には鎮守府も併置されていた役所の跡である。規模は約900m四方で、多賀城市市川のほぼ全域と浮島の一部に及んでいる。また、多賀城跡の南東約1.2kmの多賀城市高崎には多賀城の付属寺院である多賀城廃寺跡がある。これらは大正11年に史跡に指定され、さらに昭和41年には特別史跡に昇格指定された。昭和30年代後半からの急激な諸開発の波は多賀城跡の周辺にも及び、平城宮跡や大宰府跡と並んで国の三大史跡とされるほどの重要な文化遺産である多賀城跡も破壊されてしまう恐れが生じてきた。そこで、宮城県教育委員会は昭和44年4月に宮城県多賀城跡調査研究所を設置し、多賀城跡の解明と保存を目的とする発掘調査、およびその成果に基づく環境整備とを計画的に実施することにした。

1 事業内容と目的

当研究所の事業内容と目的は以下のとおりである。

(1) 多賀城跡発掘調査事業

特別史跡多賀城跡附寺跡の発掘調査を実施し、古代の多賀城の実態を解明し、あわせて環境整備のための資料を得る。

(2) 多賀城跡環境整備事業

発掘調査の成果をもとに多賀城跡附寺跡の遺構について、保存措置を講じるとともに、復元表示などの環境整備を行い、歴史公園として一般に公開する。

(3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

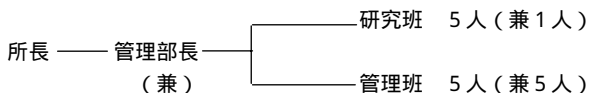
古代の多賀城に関連する県内の遺跡の発掘調査を実施して、多賀城を中心に展開された東北の古代史を多角的に解明する。

(4) 遺構調査研究事業

古代の城柵官衙遺跡についての資料を全国的な視野で収集し、調査研究する。

2 組織・予算

(1) 組織



なお、当研究所では第8-9表の学識経験者からなる多賀城跡調査研究委員会を組織し、その指導・助言を得ながら各事業の推進を図っている。

第8-9表 多賀城跡調査研究委員会委員名簿

氏名	職	専門分野
委員長 須藤 隆	東北大学名誉教授	考古学
副委員長 今泉 隆雄	東北大学大学院教授	古代史学
委員 飯淵 康一	東北大学大学院教授	建築史学
〃 鈴木 三男	東北大学教授	植物学
〃 佐藤 信	東京大学大学院教授	古代史学
〃 田辺 征夫	独立行政法人文化財研究所理事 奈良文化財研究所長	考古学
〃 近 江 隆	東北大学名誉教授	都市工学
〃 平川 南	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館長	古代史学
〃 進士五十八	東京農業大学教授	造園学

(2) 予算

ア 多賀城跡発掘調査事業費	12,064千円
イ 多賀城跡環境整備事業費	8,500千円
ウ 多賀城関連遺跡発掘調査事業費	2,994千円
(以上、50%国庫補助事業)	
エ 遺構調査研究費	105千円
オ 管理費	288千円

3 平成21年度事業の概要

(1) 多賀城跡発掘調査事業

平成21年度は多賀城跡発掘調査第9次5カ年計画の初年度にあたり、鴻ノ池・政庁南西の2地区において第81次調査を実施した。発掘調査面積は合計930㎡、調査期間は平成21年5月12日～平成21年11月30日である。総事業費は12,064千円(50%国庫補助)である。

ア 第81次調査の目的

第81次調査は外郭施設の本報告書作成に向けたデータ収集を目的として鴻ノ池・政庁南西の2地区を対象に実施した。

イ 第81次調査の成果

まず、鴻ノ池地区の調査では、平安時代の池の護岸施設とみられる打ち込み杭列と、しがらみを発見した。また、池の最下層では区画施設の基礎とみられる筏地業を発見した。

政庁南西の調査では、これまで知られていなかった平安時代の庭園の可能性のある石敷遺構を発見した。また、創建期の政庁南側に東西方向に伸びる材木堀跡の西端も確認した。

ウ 第81次調査の意義

鴻ノ池地区の平安時代の池の護岸施設の発見は、これまで伝承としてその存在が語られてきた平安時代の国府の池＝鴻ノ池を遺構として確認できたことになり、今後予定されている政庁と外郭南門間の整備に役立つ大きな成果となった。また、最下層で発見された区画施設の基礎とみられる筏地業は、創建当初の外郭南辺がこの位置にあった可能性を示すものであり、多賀城の外郭施設の位置が変化した可能性を示す成果として注目される。

政庁南西の平安時代の石敷遺構により、政庁周辺の景観に新たな要素が加えられた。また、創建期の材木堀跡の西端を確認したことで、この堀跡が仮設的な施設である可能性が高くなった。

(2) 多賀城跡環境整備事業

平成21年度は第8次5カ年計画の最終年度にあたり、「政庁地区の再整備」を実施し、総事業費8,500千円(国庫補助50%)で下記の内容の工事を行った。

構造物撤去工：築地跡を表現したソイルセメント(昭和46～48年度施工)の撤去を行った。

敷地造成工：ソイルセメントを撤去した箇所を盛土養生を行った。

植生工：整形盛土を行った築地跡を張り芝にて緑化修景を行った。

(3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

平成21年度は第8次5カ年計画の初年度にあたり、色麻町教育委員会の共催を得て色麻町日の出山窯跡群F地点の第2次発掘調査を実施した。発掘対象面積約4,425㎡、発掘調査面積約620㎡で、総事業費は2,994千円(50%国庫補助)である。

昨年度の第1次調査では、丘陵南西斜面で工房跡とみられる豎

穴住居跡 2 棟のほか、F 地点北側から流入した堆積層大別 3 層などが発見され、その北側に地下式竈窯跡や竪穴住居跡等の窯跡に関連する遺構が存在する可能性が高いと予測されたため、丘陵北半部について調査を実施した。

ア 調査の成果

調査の結果、丘陵北西斜面で地下式竈窯 3 基、竪穴住居 3 軒、平場 1 カ所、粘土採掘坑 1 基を検出した。また、東斜面でも窯が密集している状況を確認したが、調査期間が限られるため、次年度に調査を実施することにした。

イ 調査の意義

今回の調査により F 地点北側における、窯跡や竪穴住居等の分布範囲等を確定することができた。出土した瓦類の特徴から、東斜面と西斜面では時期が異なり多賀城創建期でも、東側が古い段階、西側が新しい段階の窯跡が分布していることがわかった。特に詳細な調査をおこなった西側では、粘土採掘から工房、窯跡までの瓦制作の一連の工程を示す遺構を発見・調査したことで窯場の構成についての具体的なデータを得ることができた。

(4) 遺構調査研究事業

本年度は大崎市新田柵跡推定地・大吉山窯跡群、栗原市伊治城跡、東松島市赤井遺跡、涌谷町城山土壘跡、丸森町堂平廃寺跡、熊本県鞠智城跡の調査データを収集し、比較検討した。

(5) 特別史跡多賀城跡附寺跡の現状変更申請への対応

当研究所では、特別史跡内の遺構と歴史的景観の保護に努めている。しかし、やむなく特別史跡内の現状を変更するにあたっては、申請者及び関係機関と遺跡保護のために慎重な協議を行い、遺跡への影響がない範囲で最小限の現状変更に伴う調査を行っている。平成 21 年度における現状変更申請は 6 件あった。内訳は以下のとおりである。

民間工事件 - 浴室改築・法面復旧工事等(3)
電柱移設工事(1)
公共事業 1 件 - 下水道管敷設工事(2)

このうちの 1 件については掘削を伴う工事であるため、確認調査を実施した。他の 5 件については史跡への影響は軽微であると判断されたため、工事立ち会いとした。

(6) その他

ア 現地説明会の開催

発掘調査の成果を一般の方々に公開するために、下記の現地説明会を開催した。

日の出山窯跡発掘調査現地説明会
平成 21 年 7 月 11 日 吉野 武・廣谷一也
多賀城跡第 81 次調査
平成 21 年 11 月 7 日 古川一明・三好秀樹

イ 各委員会などへの協力

後藤秀一 特別史跡多賀城附寺跡第 3 次保存管理計画策定委員会委員
多賀城市文化財保護委員会委員
多賀城市環境審議委員
史跡伊治城跡調査整備指導委員
亘理町三十三間堂官衙遺跡発掘調査検討委員会委員
角田市角田郡山遺跡発掘調査指導委員
古代城柵官衙遺跡検討会代表世話人
秋田県弘田柵跡保存管理計画策定指導委員
秋田市秋田城跡環境整備指導委員
盛岡市志波城跡史跡整備委員

ウ 発掘調査・講演会などへの協力

古川一明
『多賀城跡第 80 次調査の概要』多賀城市遺跡調査成果講演会
多賀城市文化センター 平成 21 年 7 月 11 日
吉野 武
『日の出山窯跡群調査の調査成果』色麻町遺跡報告会
平成 21 年 9 月 27 日
後藤秀一・吉野 武ほか
涌谷町城山裏土壘跡発掘調査 平成 21 年 11～12 月
吉野 武
『木簡公表のあり方について』第 3 回木簡ワークショップ
奈良文化財研究所 平成 22 年 1 月 8 日

エ 研究発表・執筆など

三好秀樹
『多賀城跡第 81 次調査概要』平成 21 年宮城県遺跡調査成果発表会
東北歴史博物館 平成 21 年 12 月 12 日
廣谷和也
『日出山窯跡群調査の概要』平成 21 年宮城県遺跡調査成果発表会
東北歴史博物館 平成 21 年 12 月 12 日
三好秀樹
『多賀城跡第 81 次調査の概要』第 36 回古代城柵官衙遺跡検討会
東北歴史博物館 平成 22 年 2 月 27 日
廣谷和也
『日の出山窯跡群調査の概要』第 36 回古代城柵官衙遺跡検討会
東北歴史博物館 平成 22 年 2 月 27 日
吉野 武
『多賀城跡第 81 次調査の概要』第 36 回古代城柵官衙遺跡検討会
東北歴史博物館 平成 22 年 2 月 28 日
廣谷和也
『多賀城実務官衙の概要』第 36 回古代城柵官衙遺跡検討会
東北歴史博物館 平成 22 年 2 月 28 日
三好秀樹
『多賀城外郭線の概要』第 36 回古代城柵官衙遺跡検討会
東北歴史博物館 平成 22 年 2 月 28 日

オ 連携大学院

東北大学大学院文学研究科長と宮城県多賀城跡調査研究所長の協定に基づき、文学研究科文化財科学専攻の大学院生の研究と指導にあたった。
後藤秀一(客員教授)・古川一明(客員准教授)
・文化財科学研究実習 『古代遺跡調査の方法と実践』

カ 研究成果刊行物

『多賀城跡 政庁跡 補遺編-』 平成 22 年 3 月
『宮城県多賀城跡調査研究所年報 2009 -多賀城跡第 81 次調査-』
平成 22 年 3 月
『日の出山窯跡群』多賀城関連遺跡発掘調査報告書第 35 冊
平成 22 年 3 月